

五島市第2期、第3期営業時間短縮要請協力金提出書類チェックシート

法人名または
個人事業主名

ご提出の前にこのシートにより、ご自身で提出書類がすべて揃っているか☑をしてください。
チェック後、このシートは申請書類とあわせてご提出ください。

<共通様式>

	書類	チェック
①	五島市第2期、第3期営業時間短縮要請協力金支給申請書(様式1) (申請要領P5参照)	<input type="checkbox"/>
②	誓約書(様式2) (申請要領P5参照)	<input type="checkbox"/>
③	申請する店舗の情報(様式3)及び 右のうちのいずれか(様式4-1)(様式4-2)(様式4-3)(様式4-4) (申請要領P5参照)	<input type="checkbox"/>
④	本人を確認できる書類の写し ※個人事業主の場合のみ (申請要領P6参照)	<input type="checkbox"/>
⑤	振込口座の通帳の写し (申請要領P6参照)	<input type="checkbox"/>
⑥	飲食店・喫茶店営業許可証の写し (申請要領P6参照)	<input type="checkbox"/>
⑦	店舗名(屋号等)がわかる外観の写真 (申請要領P6参照)	<input type="checkbox"/>
⑧	店内(飲食スペース)の写真 (申請要領P7参照)	<input type="checkbox"/>
⑨	休業・営業時間短縮の状況がわかる写真等 (申請要領P7参照)	<input type="checkbox"/>

<売上高等確認書類>

開店1年以上の店舗の場合		
	書類	チェック
⑩	前年度または前々年度の確定申告書の控えの写し 1 (法人の場合)「法人税確定申告書別表一」の控えの写し 2 (個人事業主の場合)「所得税及び復興特別所得税の確定申告書のB第一表」の控えの写し (申請要領P7～P8参照)	<input type="checkbox"/>
⑪	店舗の前年または前々年の8月～9月の飲食業売上高がわかる書類 ※第6期のみ申請の場合、前年または前々年の9月の飲食業売上高がわかる書類 (申請要領P7～P8参照)	<input type="checkbox"/>
開店1年未満の店舗の場合		
	書類	チェック
⑫	1 (法人の場合)「法人設立届出書」の控えの写し 2 (個人事業主の場合)「開業届」の控えの写し (申請要領P7～P8参照)	<input type="checkbox"/>
⑬	開店日から休業要請日の前日までの飲食業売上高がわかる書類 (申請要領P7～P8参照)	<input type="checkbox"/>
売上高減少額方式により申請する場合		
	書類	チェック
⑭	店舗の今年の8月～9月の飲食業売上高がわかる書類 (申請要領P8参照)	<input type="checkbox"/>

<「ながさきコロナ対策飲食店認証制度」の認証を受けている店舗のみ>

	書類	チェック
⑮	「認証ステッカー」を掲示している写真 (申請要領P7参照)	<input type="checkbox"/>

(様式1)

五島市営業時間短縮要請協力金支給申請書

令和 3年 月 日

五島市長 様

申請者 住 所

法人名

役職名

氏 名

(電話番号:)

(生年月日:)

次のとおり、五島市営業時間短縮要請協力金の支給を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

1 申請者の情報

申請する 店舗数		申請額 (※1)	, 0 0 0 円	
店舗の住所 (※2)	五島市	五島市		
店舗名 (屋号)				
法人番号 (法人のみ・13桁)				
担当者名		担当者 電話番号		

●申請者について、法人にあつては法人登記がある住所を、個人事業主にあつては住民登録がある住所を記入してください。(法人の場合は法人名、役職名も記入)

法人の場合は記名押印(法人登記印)を、個人の場合は自署又は記名押印してください。

※1 申請額は、様式3の「店舗の支給申請額」の金額を記入してください。

※2 申請する店舗の住所を記入してください。複数店舗ある場合は右側の欄も使用してください。

2 振込先口座

金融機関名			本・支店名			
預金種類	普通	当座	金融機関 コード		支店 コード	
口座番号						
フリガナ 口座名義人						

●旧十八銀行、旧親和銀行の通帳は、十八親和銀行の通帳へ切り替えのうえ記入してください。

●金融機関コードは4桁、支店コードは3桁、口座番号は7桁の数字を右詰めで記入してください。

●振込先口座名義は、申請者本人の名義に限ります。(法人の場合、当該法人名)

重点措置区域
以外

令和3年度営業時間短縮要請協力金
(第2期：8月24日～9月6日 第3期：9月7日～9月12日)

(様式2)

誓 約 書

五島市営業時間短縮要請協力金（第2期・第3期）の支給を申請するにあたり、以下のとおり誓約します。（※該当する期を○で囲む）

1. 感染拡大の防止に向けて、業種別ガイドラインを遵守しています。
2. 今後も、事業を継続する意思があります。
3. 申請要件を全て満たしています。
4. 申請書類に記載された内容に虚偽が判明した場合は、本協力金の返還に応じるとともに、加算金の支払いに応じます。
5. 五島市から検査・報告・是正のための措置の求めがあった場合は、これに応じます。
6. 申請に不正があった場合には、本協力金の支給を受けた事業者名、事業所名などの情報が公表されることに同意します。
7. 申請する事業の営業に必要な許可等をすべて有しています。
8. 他の行政機関等が支援金等の支給要件の該当性等の審査をするため必要な場合であって、当該審査に必要な限度で、本協力金の申請書及び提出資料に記載された情報を当該他の行政機関等の求めに応じて提供することに同意します。
9. 次のいずれにも該当しておりません。
 - (1) 五島市暴力団排除条例(平成24年五島市条例第34号)第2条第1号に規定する暴力団
 - (2) 五島市暴力団排除条例第2条第2号に規定する暴力団員
 - (3) 暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する者、その他五島市長が認める者

五島市長 様

令和3年 月 日

【申請者】

所在地・住所

氏名

【留意事項】

※法人の場合	
所在地・住所	法人登記がある所在地を記載してください
氏名	名称及び代表者の職・氏名を記名・押印してください なお、押印は法人登記印を押印してください
※個人事業主の場合	
所在地・住所	住民登録がある住所を記載してください
氏名	自署又は記名押印してください

重点措置区域
以外令和3年度営業時間短縮要請協力金
(第2期：8月24日～9月6日)

(様式4-1)

店舗No.

申請する店舗（五島市内のみ）の情報
【開店1年以上の店舗用】

法人名 または個人事業主名	
------------------	--

第2期：8月24日～9月6日

次の取組内容を記入及び店舗ごとの支給額を計算してください。

該当する取組内容の□に✓を付けてください	8月24日～9月6日	<input type="checkbox"/> 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、左記の期間中は、午前5時から午後8時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後7時以降行わないようにしました。
		<input type="checkbox"/> 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、「 <u>ながさきコロナ対策飲食店認証制度</u> 」において認証を受けており（認証ステッカーを掲示）、左記の期間中は、午前5時から午後9時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後8時以降行わないようにしました。
備考		

第2期の店舗ごとの支給額計算

第2期の支給額 (小計①)											円
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※該当する計算方法の□に✓を付けてください。

◎中小企業（個人事業主を含む）の場合 ※大企業は選択できません

前年または前々年の8月～9月における1日あたりの売上高は8万3,333円以下ですか

□A. はい

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は不要です
- ➡ 店舗の支給額は次のとおりです。
 - 1日あたりの支給単価は、2万5,000円
 - 小計① 35万円（2万5,000円 × 14日）

□B. いいえ

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、次のとおり計算してください。

(1) 前年または前々年の8月～9月における1日あたりの売上高を算定

- ・前年または前々年の8月～9月の売上高 (A) , , 円
- ・ $(A) \div 61日 = (B)$, , 円(1円未満の端数は切り上げ)

(2) 1日あたりの支給単価を決定（1日あたりの売上高の3割）

- ・ $(B) \times 0.3 = (C)$, , 000円(千円未満の端数は切り上げ)
- ・ (C) と2万5,000円のうち、いずれか高い金額 (D) , , 000円
- ・ (D) と7万5,000円のうち、いずれか低い金額 (E) , , 000円

(3) 店舗の支給額

- ・ $(E) \times 14日 = 小計①$, , 000円

(裏面につづく)

◎大企業の場合 ※中小企業（個人事業主を含む）も選択できます。

□C. 前年または前々年との比較による本年8月～9月の1日あたりの売上高減少額から算出

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、次のとおり計算してください。

(1) 1日あたりの減少額を算定

- ・前年または前々年の8月～9月の売上高 (A) _____, _____, _____ 円
- ・本年の8月～9月の売上高 (B) _____, _____, _____ 円
- ・(A) - (B) = (C) _____, _____, _____ 円
- ・(C) ÷ 61日 = (D) _____, _____, _____ 円(1円未満の端数は切り上げ)

(2) 1日あたりの支給単価の上限を算定

- ・(A) ÷ 61日 = (E) _____, _____, _____ 円(1円未満の端数は切り上げ)
- ・(E) × 0.3 = (F) _____, _____, 000円(千円未満の端数は切り上げ)
- ・(F) と 20万円のうち、いずれか低い金額 (G) _____, _____, 000円

(3) 1日あたりの支給単価を決定

- ・(D) × 0.4 = (H) _____, _____, 000円(千円未満の端数は切り上げ)
- ・(G) と (H) のうち、いずれか低い金額 (I) _____, _____, 000円

(4) 店舗の支給額

- ・(I) × 14日 = 小計① _____, _____, 000円

重点措置区域
以外令和3年度営業時間短縮要請協力金
(第2期：8月24日～9月6日)

(様式4-2)

店舗No.

申請する店舗（五島市内のみ）の情報

【開店1年未満の店舗用】

法人名

または個人事業主名

第2期：8月24日～9月6日

次の取組内容を記入及び店舗ごとの支給額を計算してください。

該当する取組内容の□に✓を付けてください

8月24日
～9月6日
☐ 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、左記の期間中は、午前5時から午後8時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後7時以降行わないようにしました。

☐ 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、「ながさきコロナ対策飲食店認証制度」において認証を受けており（認証ステッカーを掲示）、左記の期間中は、午前5時から午後9時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後8時以降行わないようにしました。

備考

第2期の店舗ごとの支給額計算

第2期の支給額
(小計①)

円

◎開店日：令和（ ）年（ ）月（ ）日 ※飲食店・喫茶店の営業許可日以降

※該当する計算方法の□に✓を付けてください。

◎中小企業（個人事業主を含む）の場合 ※大企業は選択できません

開店日～本年8月23日における1日あたりの売上高は8万3,333円以下ですか

□A. はい

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は不要です
- ➡ 店舗の支給額は次のとおりです。
 - 1日あたりの支給単価は、2万5,000円
 - 小計① 35万円（2万5,000円 × 14日）

□B. いいえ

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、裏面のとおり計算してください。

(1) 開店日～本年8月23日における1日あたりの売上高を算定

・開店日～本年8月23日の売上高合計 (A) , , 円

・開店日～本年8月23日の日数（暦日数） (B) 日

・(A) ÷ (B) = (C) , , 円（1円未満の端数は切り上げ）

(2) 1日あたりの支給単価を決定（1日あたりの売上高の3割）

・(C) × 0.3 = (D) , , 000円（千円未満の端数は切り上げ）

・(D) と2万5,000円のうち、いずれか高い金額 (E) , , 000円

・(E) と7万5,000円のうち、いずれか低い金額 (F) , , 000円

(3) 店舗の支給額

・(F) × 14日 = 小計① , , 000円

(裏面につづく)

◎大企業の場合 ※中小企業（個人事業主を含む）も選択できます。

□C. 開店日～本年 8 月 23 日との比較による本年 8 月～9 月の 1 日あたりの売上高減少額から算出

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、次のとおり計算してください。

(1) 本年 8 月～9 月の 1 日あたりの売上高を算定

- ・ 本年 8 月～9 月の売上高 (A) _____, _____, _____ 円
- ・ (A) ÷ 61 日 = (B) _____, _____, _____ 円(1 円未満の端数は切り上げ)

(2) 1 日あたりの減少額を算定

- ・ 開店日～本年 8 月 23 日の売上高 (C) _____, _____, _____ 円
- ・ 開店日～本年 8 月 23 日の日数（暦日数） (D) _____ 日
- ・ (C) ÷ (D) = (E) _____, _____, _____ 円(1 円未満の端数は切り上げ)
- ・ (E) - (B) = (F) _____, _____, _____ 円

(3) 1 日あたりの支給単価の上限を算定

- ・ (E) × 0.3 = (G) _____, _____, 000 円(千円未満の端数は切り上げ)
- ・ (G) と 20 万円のうち、いずれか低い金額 (H) _____, _____, 000 円

(4) 1 日あたりの支給単価を決定

- ・ (F) × 0.4 = (I) _____, _____, 000 円(千円未満の端数は切り上げ)
- ・ (H) と (I) のうち、いずれか低い金額 (J) _____, _____, 000 円

(5) 店舗の支給額

- ・ (J) × 14 日 = 小計① _____, _____, 000 円

重点措置区域
以外令和3年度営業時間短縮要請協力金
(第3期：9月7日～9月12日)

(様式4-3)

店舗No.

申請する店舗（五島市内のみ）の情報
【開店1年以上の店舗用】

法人名 または個人事業主名	
------------------	--

第3期：9月7日～9月12日

次の取組内容を記入及び店舗ごとの支給額を計算してください。

該当する取組内容の□に✓を付けてください	9月7日 ～9月12日	<input type="checkbox"/> 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、左記の期間中は、午前5時から午後8時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後7時以降行わないようにしました。
		<input type="checkbox"/> 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、「 <u>ながさきコロナ対策飲食店認証制度</u> 」において認証を受けており（認証ステッカーを掲示）、左記の期間中は、午前5時から午後9時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後8時以降行わないようにしました。
備考		

第3期の店舗ごとの支給額計算

第3期の支給額 (小計②)											円
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※該当する計算方法の□に✓を付けてください。

◎中小企業（個人事業主を含む）の場合 ※大企業は選択できません

前年または前々年の9月における1日あたりの売上高は8万3,333円以下ですか

□A. はい

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は不要です
- ➡ 店舗の支給額は次のとおりです。
 - 1日あたりの支給単価は、2万5,000円
 - 小計② 15万円（2万5,000円 × 6日）

□B. いいえ

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、裏面のとおりに計算してください。
 - (1) 前年または前々年の9月における1日あたりの売上高を算定
 - ・前年または前々年の9月の売上高 (A) , , 円
 - ・ $(A) \div 30日 =$ (B) , , 円(1円未満の端数は切り上げ)
 - (2) 1日あたりの支給単価を決定（1日あたりの売上高の3割）
 - ・ $(B) \times 0.3 =$ (F) , , 000円(千円未満の端数は切り上げ)
 - ・(F)と2万5,000円のうち、いずれか高い金額 (G) , , 000円
 - ・(G)と7万5,000円のうち、いずれか低い金額 (H) , , 000円
 - (3) 店舗の支給額
 - ・ $(H) \times 6日 =$ 小計② , 000円

(裏面につづく)

☒ 大企業の場合 ※中小企業（個人事業主を含む）も選択できます。

□ C. 前年または前々年との比較による本年 9 月の 1 日あたりの売上高減少額から算出

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、次のとおり計算してください。

(1) 1 日あたりの減少額を算定

- ・ 前年または前々年の 9 月の売上高 (A) _____, _____, _____ 円
- ・ 本年の 9 月の売上高 (B) _____, _____, _____ 円
- ・ (A) - (B) = (C) _____, _____, _____ 円
- ・ (C) ÷ 30 日 = (D) _____, _____, _____ 円 (1 円未満の端数は切り上げ)

(2) 1 日あたりの支給単価の上限を算定

- ・ (A) ÷ 30 日 = (E) _____, _____, _____ 円 (1 円未満の端数は切り上げ)
- ・ (E) × 0.3 = (F) _____, _____, 000 円 (千円未満の端数は切り上げ)
- ・ (F) と 20 万円のうち、いずれか低い金額 (G) _____, _____, 000 円

(3) 1 日あたりの支給単価を決定

- ・ (D) × 0.4 = (H) _____, _____, 000 円 (千円未満の端数は切り上げ)
- ・ (G) と (H) のうち、いずれか低い金額 (I) _____, _____, 000 円

(4) 店舗の支給額

- ・ (I) × 6 日 = 小計① _____, _____, 000 円

重点措置区域
以外令和3年度営業時間短縮要請協力金
(第3期：9月7日～9月12日)

(様式4-4)

店舗No.

申請する店舗（五島市内のみ）の情報

【開店1年未満の店舗用】

法人名

または個人事業主名

第3期：9月7日～9月12日

次の取組内容を記入及び店舗ごとの支給額を計算してください。

該当する取組内容の□に✓を付けてください

9月7日
～9月12日

- ☐ 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、左記の期間中は、午前5時から午後8時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後7時以降行わないようにしました。
- ☐ 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、「ながさきコロナ対策飲食店認証制度」において認証を受けており（認証ステッカーを掲示）、左記の期間中は、午前5時から午後9時までの間に営業時間を短縮（終日休業を含む）し、酒類の提供は午後8時以降行わないようにしました。

備考

第3期の店舗ごとの支給額計算

第3期の支給額
(小計②)

,

,

円

◎開店日：令和（ ）年（ ）月（ ）日 ※飲食店・喫茶店の営業許可日以降

※該当する計算方法の□に✓を付けてください。

◎中小企業（個人事業主を含む）の場合 ※大企業は選択できません

開店日～本年9月6日における1日あたりの売上高は8万3,333円以下ですか

□A. はい

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は不要です
- ➡ 店舗の支給額は次のとおりです。
- 1日あたりの支給単価は、2万5,000円
- 小計② 15万円（2万5,000円 × 6日）

□B. いいえ

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、裏面のとおり計算してください。

(1) 開店日～本年9月6日における1日あたりの売上高を算定

・開店日～本年9月6日の売上高合計 (A) _____ 円

・開店日～本年9月6日の日数（暦日数） (B) _____ 日

・(A) ÷ (B) = (C) _____ 円(1円未満の端数は切り上げ)

(2) 1日あたりの支給単価を決定（1日あたりの売上高の4割）

・(C) × 0.4 = (D) _____ 円(千円未満の端数は切り上げ)

・(D) と2万5,000円のうち、いずれか高い金額 (F) _____ 円

・(F) と7万5,000円のうち、いずれか低い金額 (G) _____ 円

(3) 店舗の支給額

・(G) × 6日 = 小計② _____ 円

◎大企業の場合 ※中小企業（個人事業主を含む）も選択できます。

□C. 開店日～本年9月6日との比較による本年9月の1日あたりの売上高減少額から算出

- ➡ 飲食業売上高を確認できる書類（売上帳の写しなど）の添付は必要です
- ➡ 店舗の支給額について、次のとおり計算してください。

(1) 本年9月の1日あたりの売上高を算定

- ・ 本年9月の売上高 (A) _____ 円
- ・ (A) ÷ 30日 = (B) _____ 円(1円未満の端数は切り上げ)

(2) 1日あたりの減少額を算定

- ・ 開店日～本年9月6日の売上高 (C) _____ 円
- ・ 開店日～本年9月6日の日数（暦日数） (D) _____ 日
- ・ (C) ÷ (D) = (E) _____ 円(1円未満の端数は切り上げ)
- ・ (E) - (B) = (F) _____ 円

(3) 1日あたりの支給単価の上限を算定

- ・ (E) × 0.3 = (G) _____ 円(千円未満の端数は切り上げ)
- ・ (G) と 20万円のうち、いずれか低い金額 (H) _____ 円

(4) 1日あたりの支給単価を決定

- ・ (F) × 0.4 = (I) _____ 円(千円未満の端数は切り上げ)
- ・ (H) と (I) のうち、いずれか低い金額 (J) _____ 円

(5) 店舗の支給額

- ・ (J) × 6日 = 小計① _____ 円

※この様式は、申請者と申請する店舗の営業許可証の名義人が異なる場合にお使いください

理 由 書

令和3年 月 日

五島市長 様

1 申請する店舗の情報

店舗所在地	五島市					
名 称						
営業許可番号	長崎県指令 五保衛 第					号

※営業許可証に記載の情報をご記入ください

2 営業許可証の名義人が申請者と異なる理由

上記の店舗に係る営業許可証の名義人が申請者と一致していない理由は、次のとおりです。
申請する店舗が営業許可を取得していることは間違いありません。

【理由】

--

申請者

所在地・住所

氏 名

営業許可を受けているもの

所在地・住所

氏 名

【留意事項】

※法人の場合	
所在地・住所	<u>法人登記がある所在地</u> を記載してください
氏名	名称及び代表者の職・氏名を記名・押印してください なお、押印は <u>法人登記印を押印</u> してください
※個人事業主の場合	
所在地・住所	<u>住民登録がある住所</u> を記載してください
氏名	<u>自署又は記名押印</u> してください